

平成24年度共同研究の概要（成果報告書抜粋）

研究種目：一般研究

研究代表者：加藤 博（一橋大学大学院経済学研究科・教授）

研究分担者：長谷川奏（早稲田大学エジプト学研究所・客員准教授）、岩崎えり奈（共立女子大学文芸学部・准教授）、松岡延浩（千葉大学大学院園芸学研究科・教授）、木村玲二（鳥取大学乾燥地研究所・准教授）、サルワ・エルベイ（リモートセンシング空間科学国立研究所・准教授）、藤巻晴行（鳥取大学乾燥地研究所・准教授）、サイエド・ザグルール（リモートセンシング空間科学国立研究所・教授）

研究題目（和文）：

乾燥地エジプトの灌漑耕作システムの学際的研究

研究概要（和文）：

研究分担者の Zaghoul 教授、Elbeih 博士が所属するリモートセンシング・空間科学機構 (National Authority for Remote Sensing and Space Sciences (NARSS)) と共同で、The 4th Egyptian Japanese Joint Symposiums on “Remote Sensing and Its Application; From Archaeology to Social Sciences と題するシンポジウムを 2012 年 9 月 11、12 日にカイロで開催し、そのなかで独自のセッションを組織し、次の四つの報告を行った。(1) H. Kato and E. Iwasaki, “Rashda Village: Its History and Social Life”。(2) E. Iwasaki and H. Kato, “Social Environment, Irrigation and Cultivation in Rashda Village”。(3) R. Kimura, “Climatic features in Rashda village and detection of cultivation pattern and water use using satellite data”。(4) S. F. Elbeih, E. Iwasaki and H. Kato, “Irrigation and Land Use in Rashda Village : Case Study of Well No. 3 District, Based on Satellite Data”。